

言葉を動かす力になる。

言葉にすれば、

JICA国際協力中学生・高校生

# エッセイ コンテスト 2017

募集期間

6/9 金



9/11 月

当日消印有効

テーマ **世界の人々と  
共に生きるために**  
～私たちの考えること、出来ること～



写真提供：JICA/今村 健志朗

主催：独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 後援：

外務省、文部科学省、世界銀行東京事務所、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国国際教育研究協議会、日本私立中学高等学校連合会、読売新聞社、産経新聞社、特定非営利活動法人開発教育協会、NHK、各都道府県教育委員会及び政令指定都市教育委員会、各都道府県青年海外協力隊OB会

協力：日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社スクールパートナーズ  
※後援、協賛各団体・企業は一部予定を含みます。



# 応募要項

テーマ **世界の人々と共に生きるために** ～私たちの考えること、出来ること～

募集  
期間

6/9(金) ▶ 9/11(月) 当日消印有効

## 賞

中学生・高校生各

最優秀賞 ..... 3名

- ・独立行政法人国際協力機構理事長賞 1名
- ・外務大臣賞 1名
- ・文部科学大臣賞 1名

優秀賞 ..... 3名

審査員特別賞 ..... 4名

国際協力特別賞 ..... 10名

国内機関長賞

佳作 他

学校賞

60作品以上の応募、または全校生徒の3割以上の応募があった学校。

特別学校賞

学校賞を長年に渡り連続して受賞し、多数の応募をしてきた学校。

## 副賞

<最優秀賞・優秀賞・審査員特別賞>

# 約1週間の 海外研修



<国際協力特別賞・その他の賞>

## フェアトレード商品等



応募された方全員へ  
参加賞を差し上げます。

- 海外研修は日本航空株式会社及び全日本空輸株式会社にご協力いただいております。
  - 海外研修は2018年7月下旬実施予定です。研修地のJICAプロジェクト訪問やホームステイ、現地の人たちと交流を行います。
  - 現地の治安状況等によっては、海外研修の延期もしくは中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
  - 当方が指定する日程で、入賞者の方のご都合で参加いただけない場合は、第三者への譲渡、貸与、次年度への振替等はできません。
- ※過去の海外研修参加者のフォトエッセイは、JICA地球ひろばホームページからご覧いただけます。

## エッセイコンテストの魅力

学校での活用

世界のことを考えるきっかけになります。夏休みの宿題や調べ学習にも最適です。

過去の受賞者の活躍

過去の実績者は、JICAや国際機関、様々な分野で、世界を舞台に活躍しています。

作品の掲載

上位作品は、JICAホームページに掲載されます。優秀作品集として、全国の中学・高校に配布されます。

## 入賞発表

JICA地球ひろばホームページにて発表します。  
なお、入賞者には2018年1月上旬に文書にて通知します。

## 審査員長



名誉審査員長  
**小山内美江子氏**  
脚本家/JHP・学校をつくる会代表理事



中学生の部  
**尾木直樹氏**  
教育評論家/法政大学特任教授



高校生の部  
**星野知子氏**  
女優/エッセイスト

## 応募規定

- <中高共通>
- ・作品は、自分の考えや体験等をエッセイとして書いたもので、他のコンクール事業等で発表していないものとする。
  - ・作品は日本語のものに限る。・1人1作品のみ応募可。・作品に題名、学校名、氏名、学年を必ず記入すること。(エッセイ本文の字数には含まれません)
  - ・応募用紙はコピー可。JICA地球ひろばホームページからダウンロード可。・作品毎に右肩上をホッチキスで必ず留めること。
- ※応募者の年齢は、満20歳まで(1997年4月2日以降に出生の方)とする。
- <中学生の部>
- ・2017年6月時点で中学生であること。・文字数:本文1,200字以内(400字詰原稿用紙3枚以内)。
  - ※題名、学校名、氏名、学年は字数に数えません。※句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。
- <高校生の部>
- ・2017年6月時点で高校生であること。・文字数:本文1,600字以内(400字詰原稿用紙4枚以内)。
  - ※題名、学校名、氏名、学年は字数に数えません。※句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。

## 応募方法

### 応募方法

[個人応募書類①応募用紙][個人応募書類②アンケート用紙]の書類計2枚に、それぞれ必要事項をご記入の上、作品と一緒に下記応募先まで送付してください。

### 学校単位で応募される方

[学校応募書類①応募用紙][学校応募書類②アンケート用紙][学校応募書類③応募者名簿]の書類計3枚にそれぞれ必要事項をご記入の上、作品と一緒に下記応募先まで送付してください。  
※応募された方全員に参加賞をお送りしますので、校内選考をせず、全ての作品を送付してください。

## 応募先

〒252-0216 神奈川県相模原市中央区清新8-17-44 株式会社スクールパートナーズ  
「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2017」

## 問い合わせ先

公益社団法人 青年海外協力協会内 JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト全国運営事務局

TEL: 03-3556-5926 (直通)

JICAエッセイコンテスト

検索

<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html>



著作権について

著作権は募集者であるJICAに帰属するものとし、応募作品は返却いたしません。入賞者の学校名、氏名、作品名は、作品集、ホームページ等に掲載いたします。

個人情報の取り扱いについて

応募いただいた個人情報は、当機構にて厳重に管理し、正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することはありません。ただし、当機構との間で機密保持契約を締結した第三者に対し、このエッセイコンテストに関する業務を委託する場合は除きます。その用途としては、当コンテストの受賞通知、賞品発送及びJICAが行う開発教育支援事業の案内のみといたします。



# JICA国際協力エッセイコンテスト

JICAでは、開発途上国の現状や国際協力の必要性について理解を深め、自分たち一人一人に何ができるのかを考えることを目的に、中学生・高校生を対象としたエッセイコンテストを毎年実施しています。

テーマ

世界の人々と共に生きるために ～私たちの考えること、出来ること～

持続可能な開発目標SDGs



世界を変えるための17の目標

エッセイを書くことを通じ、私達の身の回りの出来事から、世界の人々と共により良い世界を目指し、自分たちに出来ることについて考えてみましょう。

JICAでは学校向けに国際理解教育を支援する様々なプログラムを提供しています。

国際理解教育や参加型手法を学び、学校の授業に活用したい

教員向け



生徒に直接、世界の現状やグローバルな課題を理解させたい

生徒向け



## 国際理解教育のための教材

JICAでは、国際理解教育や総合的な学習の時間に役立つ教材を作成し、無料で提供しています。国際協力や地球規模の課題をテーマにした冊子・動画・ウェブなどの教材を、授業に合わせてぜひご活用ください。



## 国際協力出前講座

開発途上国の実情や日本との関係、国際協力について、JICAボランティア経験者等を講師として派遣します。毎年全国で約2,000件以上、約20万人が受講しています。



## 国際理解教育セミナー

国際理解教育の基本的な考え方や手法を学ぶ講座を、各地のNGOや教育委員会、国際交流協会等の関係機関と協力して開催しています。参加型学習の手法を体験しながら、世界を学ぶ授業づくりにお役立てください。



## JICA施設訪問

出前講座では講師が学校等へ訪問しますが、その逆に学校の生徒等のグループをJICA国内拠点にお迎えし、施設案内や出前講座と同様の講座等を実施しています。



## 教師海外研修

開発途上国の現状、日本との関係や国際協力への理解を深め、その成果を子どもたちの教育に役立てることを目的とした研修です。研修で得た学びと感動を、授業や教材作成を通じて子どもたちに伝えてください。



## JICA地球ひろば

世界が直面する多くの課題を、体験型展示で学ぶことができます。展示を通して、途上国の現状や、世界と私たちのくらしとのつながりを知り、「私たちにできること」を考えます。東京(市ヶ谷)、愛知(名古屋)、北海道(札幌)の3カ所にあります。



## 先生のお役立ちサイト

JICAでは、国際理解教育・開発教育の実践やより一層の充実を目指す教員の皆さまのために、様々な情報を提供する「先生のお役立ちサイト」を立ち上げました。学校で活用できる(生徒・教員向け)各種プログラムも紹介しています。是非、ご活用下さい。



<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/index.html>

JICA先生のお役立ちサイト 検索

## エッセイコンテスト

国際理解の授業後の課題や探求的学習、調べ学習、夏休みの宿題としてご活用下さい。

平成28年度学校応募数  
中学校:1167校 高校:380校



各事業の詳細は最寄の国内拠点、もしくは各都道府県にいるJICA窓口の国際協力推進員

JICA国際協力推進員 検索 にお問合わせ願います。

## 独立行政法人国際協力機構(JICA)国内拠点<管轄及び連絡先>

JICA 北海道(札幌)	北海道(道央・道北・道南)	011-866-8333
JICA 北海道(帯広)	北海道(道東)	0155-35-1210
JICA 東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県	022-223-5151
JICA 二本松	福島県	0243-24-3200
JICA 筑波	茨城県 栃木県	029-838-1111
JICA 東京	群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 新潟県	03-3485-7051
JICA 横浜	神奈川県 山梨県	045-663-3251
JICA 駒ヶ根	長野県	0265-82-6151

JICA 北陸	富山県 石川県 福井県	076-233-5931
JICA 中部	静岡県 岐阜県 愛知県 三重県	052-533-0220
JICA 関西	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	078-261-0341
JICA 中国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県	082-421-6300
JICA 四国	徳島県 香川県 愛媛県 高知県	087-821-8824
JICA 九州	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県	093-671-6311
JICA 沖縄	沖縄県	098-876-6000